

Lied

Franz Schubert

シューベルト 三大歌曲集

バリトン 駒田 敏章 ピアノ 新堀 聡子



白鳥の歌

Schwanengesang, D 957

SUN

6.2

開演

14:00

13:30 開場



美しき水車小屋の娘

Die schöne Müllerin, D 795

SUN

6.30

開演

14:00

13:30 開場



冬の旅

Winterreise, D 911

SUN

7.21

開演

14:00

13:30 開場

主催：株式会社メディカルシステムネットワーク（ウイステリアホール） 協力：なの花薬局 後援：札幌市・札幌市教育委員会



〈新堀〉 シューベルト晩年の最高傑作

プレミアムクラシックという室内楽シリーズと共に歩んできたウイステリアホール（以下、当ホール）。昨年に開館5周年を迎えた記念作品として新制作の音楽劇を上演、特色ある小ホールとしてお客様と新しい一歩を踏み出すことができた。開館当初より意欲的なステージづくりへ取り組みいただいたバリトンの駒田敏章さんによる功績も大きい。特に音楽劇においては、普段オペラの舞台上に上がる機会の多い駒田さんが「ジングシュピール（歌芝居）」として作品の読み起こしから脚本、演出まで幅広い技術や手法を当ホールへ注ぎ込んでくれた。

さて、当ホールミュージックディレクター新堀さんの企画に様々な角度から音楽を楽しめるアイデアを提供して下さる駒田さんだが、本来の「演奏」について「原点回帰」を行ったのが今回の企画である。お二人に作曲家や楽曲から紐解く上質な音楽の真骨頂について話を伺った。

シューベルト晩年の最高傑作と言われる三大歌曲をツィクルスで聴くことのできる非常に希な公演ですが、今回この作品を取り上げられたきっかけを教えてください。

新堀 駒田さんとはこれまで「プレミアムクラシック」で2公演、コ

ピアノ 新堀 聡子 Satoko Shimbori

北海道教育大学札幌校卒業後、ドイツ・ヴュルツブルク音楽大学、同大学院を首席で修了。ドイツ国家演奏家資格を取得。ドイツ各地でコンサートに出演。帰国後、新田ユリ指揮ハイメスオーケストラとラフマニノフ「パガニーニの主題による狂詩曲」を共演。2010年から定期的にリサイタルを開催するなどソロや室内楽で活発な演奏活動を行っている。これまでにピアノを安井耕一、梅本実、岡本孝慈、ベルント・グレンザーの各氏に師事。ハイメスコンクール、スタインウェイコンクール（ドイツ）、ブラームス国際コンクール（オーストリア）入賞。ヴュルツブルク音楽大学講師を経て現在、北翔大学、札幌大谷大学、札幌国際大学非常勤講師。ウイステリアピアノサロンにてピアノ教室を主宰。またミュージックディレクターとしてウイステリアホールに於けるクラシックコンサートの企画構成を担当している。

ロナ禍では動画収録、昨年はCD制作と「音楽劇ファウスト」で共演してきました。シューベルトのこの大きな作品にいいよ取り組んでもよい時なのではないかと思ひ提案しました。

駒田 年月を経て自分がようやく歌える時期に来ているのではないかと思います。歌手としての技術はもちろん必要ですが、詩の内容をお客様に伝える力が最も必要な作品です。クラシック音楽の中でも最も重要な作品であるこれらを取り上げる事は、クラシック音楽を取り上げる劇場では避けては通れないものではないでしょうか。

お二人にとってのシューベルトはどのような作曲家ですか？

新堀 特に歌曲をたくさん書いた人でその数は600曲にもなります。交響曲や室内楽曲にも素晴らしいものがありますが、「歌曲王」と言われるだけあって「歌の作曲家」というイメージが強いですね。

駒田 「歌」の作曲家だと思います。器楽曲もたくさんありますがシューベルトの作品の根底には「歌」があります。シンプルで美しいメロディ、わかりやすいリズム、しかし時折みせる大胆なハーモニーの変化、これらを詩と融合した作曲家。



バリトン
駒田 敏章
Toshiaki Komada

愛知県名古屋市出身。愛知教育大学を経て東京芸術大学卒業。同大学大学院修了。東京芸術大学創立120周年企画シリーズ『ペールギュント』全曲演奏会ではペール役を演じた。大学院修了後、新国立劇場オペラ研修所でオペラを学ぶ。文化庁海外派遣制度でドイツ・ベルリンに留学。2012年オランダ・グローニンゲンで開催された音楽祭にラヴェル『スペインの時』ラミーロ役で出演し Labberte-Hoedemaker Award を受賞した。札幌で開催されたPMFではリヒャルト・シュトラウス『ナクソス島のアリアドネ』音楽教師役を演じる。セイジ・オザワ松本フェスティバルでは2015年からラベル『子供と魔法』椅子・木役で出演。また、オペラ・コンサート活動と並行し、常にドイツ歌曲の演奏に力を入れている。第83回日本音楽コンクール(歌曲)第1位。

三大歌曲とドイツ歌曲(リート)の魅力について教えてください。

駒田 3つの作品それぞれにキャラクターが全く違いますが最高傑作である事は間違いありません。言葉と音楽がシンプルさを保ちながらも融合されており、一つの到達点にあると言えるでしょう。「美しき水車小屋の娘」は一人の青年の自然への憧れ、旅、恋、失恋、死を表現する歌物語で、「冬の旅」は孤独や疎外感を、冬の景色と共に、心象風景のように表現しています。「白鳥の歌」は晩年の作品をまとめたもので物語性はないのですが、喜びも悲しみも、シューベルトの音楽を通してシンプルかつ深く伝わる曲集です。

新堀 シューベルトが人生の最期に音楽で表現したものは何だったのか、垣間見えるのではないかと思います。そして人間の声とピアノだけで作り出すドイツ歌曲の魅力を体感してほしいですね。

駒田 それぞれの国ごとに「歌曲」のキャラクターが違って面白いです。ドイツ歌曲は言葉と音楽を両立させる事に対するこだわりが一番強いと思います。音楽(例えばメロディ)のために言葉を犠牲にする事はありません。ちなみにこの考えが進みすぎると難解な物

〈駒田〉
叶えられない憧れと生き様を表現した作品群

になってしまおうのですがシューベルトはバランスが良いです。またピアノがとても重要であり、いわゆる「歌の伴奏」ではないのも特徴です。歌とピアノが対等な立場だとよく言われますが、個人的にはピアノが八割、歌が二割くらいの比重なのではないかと思うほどです。

最後に新堀さんにお聞きします。
駒田さんの歌の魅力について教えてください。

新堀 率直なアプローチで人の心に踏み込む演奏の説得力と、作品に対する深い洞察力ですね！クラシックの楽しさ、面白さ、奥深さに触れ、音楽の感動を皆さまと共有できる素敵のひとつとなりますように。

駒田さん、新堀さんありがとうございました。本公演は新たなフェーズを迎えたプレミアムクラシックのスピノフ企画として9月スタートのシーズンと併せて是非注目ください。小ホールの特性を活かした音づくりと、エンターテインメント性の両面発展の実現に向けた新しいスタイルに取り組みます。会場皆様にお会いできることを楽しみにしております。

シューベルト：白鳥の歌 (字幕あり/休憩あり)

Franz Schubert : Schwanengesang, D 957

作詞：ルートヴィヒ・レルシュターブ Ludwig Rellstab
ハインリヒ・ハイネ Heinrich Heine
ヨハン・ガブリエル・ザイドル Johann Gabriel Seidl

Lied

Franz Schubert

愛の使い
兵士の予感
春の憧れ
セレナーデ
住処
はるかな地で
別れ
アトラス

Liebesbotschaft
Kriegers Ahnung
Frühlingssehnsucht
Ständchen
Aufenthalt
In der Ferne
Abschied
Der Atlas

彼女の姿
漁師の娘
街
海辺で
ドッベルゲンガー
秋
鳩の便り

Ihr Bild
Das Fischermädchen
Die Stadt
Am Meer
Der Doppelgänger
Herbst (D945)
Die Taubenpost (D965A)

シューベルト：美しき水車小屋の娘 (字幕あり/休憩なし)

Franz Schubert : Die schöne Müllerin, D 795

作詞：ヴィルヘルム・ミュラー Wilhelm Müller

第1曲 さすらい
第2曲 どこへ?
第3曲 生まれ!
第4曲 小川への言葉
第5曲 仕事を終えた宵の集いで
第6曲 知りたがる男
第7曲 苛立ち
第8曲 朝の挨拶
第9曲 水車職人の花
第10曲 涙の雨

Das Wandern
Wohin?
Halt!
Danksagung an den Bach
Am Feierabend
Der Neugierige
Ungeduld
Morgengruß
Des Müllers Blumen
Tränenregen

第11曲 僕のものだ!
第12曲 休み
第13曲 緑色のリュートのリボンを手
第14曲 狩人
第15曲 嫉妬と誇り
第16曲 好きな色
第17曲 いやな色
第18曲 しほめる花
第19曲 水車職人と小川
第20曲 小川の子守歌

Mein!
Pause
Mit dem grünen Lautenbände
Der Jäger
Eifersucht und Stolz
Die liebe Farbe
Die böse Farbe
Trockne Blumen
Der Müller und der Bach
Des Baches Wiegenlied

シューベルト：冬の旅 (字幕あり/休憩なし)

Franz Schubert : Winterreise, D 911

作詞：ヴィルヘルム・ミュラー Wilhelm Müller

第1曲 おやすみ
第2曲 風見の旗
第3曲 凍った涙
第4曲 凍結
第5曲 菩提樹
第6曲 あふれる涙
第7曲 川の上で
第8曲 回想
第9曲 鬼火
第10曲 休息
第11曲 春の夢
第12曲 孤独

Gute Nacht
Die Wetterfahne
Gefrorene Tränen
Erstarrung
Der Lindenbaum
Wasserflut
Auf dem Flusse
Rückblick
Irrlicht
Rast
Frühlingstraum
Einsamkeit

第13曲 郵便馬車
第14曲 灰色の頭
第15曲 からす
第16曲 最後の希望
第17曲 村で
第18曲 嵐の朝
第19曲 幻覚
第20曲 道しるべ
第21曲 宿屋
第22曲 勇気
第23曲 幻の太陽
第24曲 辻音楽師

Die Post
Der greise Kopf
Die Krähe
Letzte Hoffnung
Im Dorfe
Der stürmische Morgen
Täuschung
Der Wegweiser
Das Wirtshaus
Mut
Die Nebensonnen
Der Leiermann

全席指定席

【一般発売：2024年3月13日(水)】

前売券 (1公演分)	一般	2,000円
	U-25	1,000円
当日券	一般	2,500円
	U-25	1,000円

チケットの
お取扱い

電子チケット



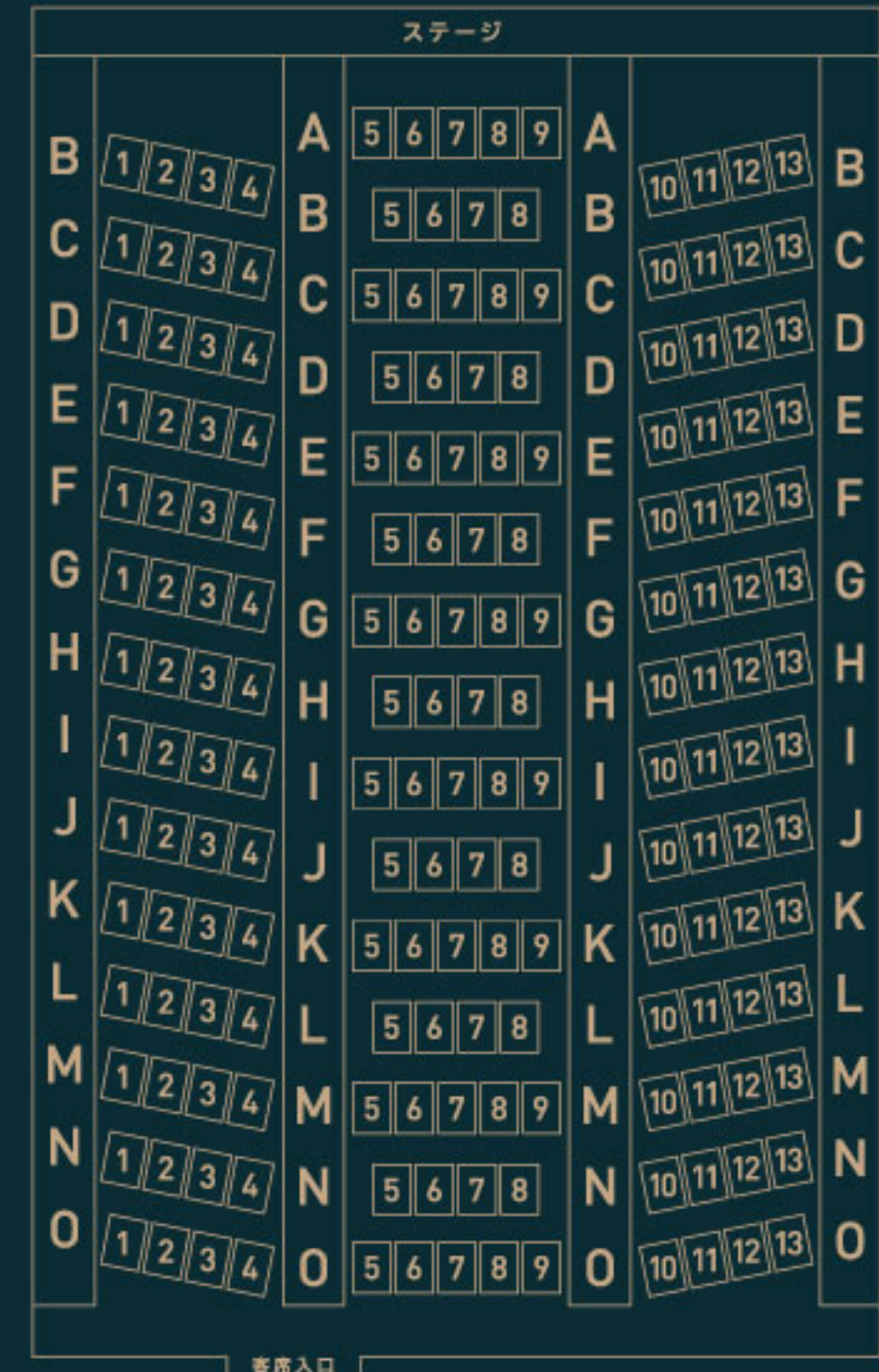
電子チケットがおすすめ!

市内プレイガイド

道新プレイガイド
(道新本社1階)

市民交流プラザチケットセンター
(札幌市民交流プラザ2階)

※道新プレイガイド オンラインストアでもお取り扱いしております。



本公演は小学生以上が入場可能となります。U25は25歳以下が対象です。当日券発売については、公演前日に告知いたします。最新情報と併せてご確認くださいませ。料金は全て税込です。ご購入方法によっては手数料が掛かります。車椅子のご利用は事前にお問い合わせください。ウイステリア南1条ビル駐車場の割引等はございません。ウイステリアホールは引き続き感染症予防対策に取り組み適切な機械換気を行っております。場内の温度が変動する場合がございますので、予めご了承ください。発熱や体調不良時には来場をお控えください。出演者等に変更がある場合や、やむを得ず公演が中止となる場合がございますので予めご了承ください。

お問い合わせ ウイステリアホール
011-281-1001
<https://www.msnw-wishall.jp/>

WISTERIA HALL ウイステリアホール

ウイステリアホール 011-281-1001
火～金 10:00～17:00
<https://www.msnw-wishall.jp/>
〒060-0061
札幌市中央区南1条西14丁目291-81
ウイステリア南1条ビルBF



地下鉄東西線：西18丁目5番出口より徒歩5分
札幌市電：西15丁目駅停留所より徒歩1分

WISTERIA HALL PREMIUM CLASSIC

プレミアムクラシックシリーズは
ウイステリアホールの主催事業です